

アイリスLetter

保護者の皆様へ



2016年5月31日発行
第2号
広島女学院中学高等学校

5月になって暑い日々が続きましたが、今年度最初の定期テストである中間テストも終えて6月となり、早くも1学期後半に入りました。

5月には今年度初の全体行事となる体育大会が牛田校地のグラウンドで行われました。多くの保護者の方々が見守る中、生徒達の一生懸命競技や演技に取り組む姿は、見る者にたくさんの元気を与えてくれました。また、PTA 総会の日には、合わせて行われた授業参観や懇談会にも多数の方々にお出で頂き、ご協力のもと無事に終えることが出来ましたことを感謝いたします。新役員の皆様方には今年度どうぞよろしくお願い申し上げますと共に、旧年度の役員の皆様方には昨年度のご尽力に深く感謝申し上げます。

ところで、5月27日に、オバマ大統領が現職アメリカ大統領として初めて広島を訪問するという出来事がありました。振り返ってみますと2009年4月、アメリカ主導で核兵器の無い世界を目指す、というプラハでの大統領の演説は大きな反響を呼び、広島でも強い期待と注目を浴びました。しかし、その後アメリカ国内での強い反発等もあり、現実にはこのことを進めることの難しさがあらためて浮き彫りになった印象がありました。そして、その後も国家指導者による核兵器使用を是認する発言、国家による核実験・核兵器開発は続いています。一方で、その間も様々なレベルで、国家間の問題解決等に於いての核兵器使用の可能性を縮小、廃絶して行くための様々な活動が続けられて来ました。あの演説から7年経って、任期残り僅かとはいえ、この度現職の大統領が直接原爆の被爆地を訪れた意味は大きいと思います。

この日、平和記念公園では被爆者の方々に加えて、これからの世界に貢献する世代を代表して、ユース非核特使（外務省創設、国際会議等で被爆の実相を伝えるために選ばれた高校生・大学生特使）の代表経験者も招かれて大統領を迎えましたが、この中には、女学院高校生と卒業生計2名も含まれていました。過去、この特使には本校高校生10名が選ばれており、ニューヨーク国連本部でのNPT(核兵器不拡散条約)関連会議や、モントレイ大学でのCIFに参加して、軍縮や核兵器の不拡散の問題に取り組んできました。

オバマ大統領の献花の際には、花輪をお渡しする役を先程の女学院生が仰せつかりましたが、これはこれまで本校の中で平和教育に取り組んできた生徒・教職員、また本校に限らず、平和のための活動を継承してきた若い世代の方達の代表として、あの場に立たせて頂いたことを感慨深く思いました。

4月10日にはG7の外相夫人ら5名の方々が本校を訪問され、そこでも生徒達は学校生活と共に平和教育の取り組みについて発表しましたが、今年は国家の重要な立場にある方達にこの様な発信の機会が与えられている事の意味を考え、これからも日々の教育を大切に取り組んでいきたいと思っています。

聖書の言葉 「悪を避け、善を行い、平和を尋ね求め、追い求めよ。」

詩編 34 章 15 節

(校長)

2016 年度体育大会

昨年度は、小雨が降り、少し肌寒さを感じながら始まった体育大会でしたが、今年度は天候にも恵まれ、また吹奏楽のファンファーレが響き渡るほど静肅な雰囲気の中、体育大会が始まりました。今年は、行進練習が雨のため中高ともできなかったのですが、生徒たちはしっかり行進していました。すばらしかったです。そのような雰囲気の中で望んだ今年の体育大会、競技前の集合同もすばらしく、例年より早く運営することができました。本当に女学院生たちのすごさを感じとれた一日でした。

競技は中学生の“100m走”に始まり、“足並みそろえて”や高3の“むかで競争”は「イチニ」「イチニ」と大きな掛け声をかけ合いながら競技し、中1の“台風目”では楽しそうに竹竿を握りしめながら走りました。中2の“棒うばい”や中3の“騎馬戦”も白熱し、特に中2の“棒うばい”でのピストルの合図で前方にある棒に向かっていく姿は、見ているものが圧倒されるような迫力がありました。また、“着せつけ競争”は競技の早さを競うだけでなく、できあがりの良さも採点に入るので、とても丁寧に仕上がっていたクラスもありました。その後のお披露目では会場中が笑顔に包まれました。

リレー種目は毎年各色対抗意識を燃やし、競技をする者も応援する者も熱が入り、手に汗握る展開を見せてくれます。

最後に、今年の体育大会も体育委員中心に各係や PTA の皆様のご協力もあり、開始から終了まで無事に終わることができましたこと感謝いたします。

なお総合優勝は白組、準優勝は緑組、応援合戦では金賞は青組、銀賞は白組でした。

(体育科)



高1 進路合宿

4月26日(火)から27日(水)にかけて、グリーンピアせとうちで進路合宿を行いました。合宿の目的は「自分の将来について考える」です。よりよい高校生活のスタートをめざし、進路を中心に据えた学校生活を送るにはどうしたらよいかをHR活動を通して考えました。開会礼拝の後、進路指導部主任の中村先生の講演で、高校生活や授業、日々の学習に必要な心構えについての話を聞きました。昼食後、各クラスに分かれ、生徒たちはスタディーサポートの結果を受けとり、自分史や保護者の方からの手紙を読んで自分自身を知るということをテーマにHR活動を行いました。夕食後は、翌日にクラスで発表する「自分を語る」の原稿作りをして1日目を終わりました。2日目は、原稿を基に各クラスで一人ずつ発表を行いました。一人ひとりが自分自身を語り、

友人の話に真剣に耳を傾けることで、自分としっかり向き合い、将来について考えることができ、実り多い2日間となりました。これらを糧に、充実した高校生活を送ってくださることを願っています。

保護者の皆様には手紙を書いていただくという大切な部分にご協力いただき、心から感謝申し上げます。

(高1学年会)

中1学年合宿

4月27日(水)～28日(木)に中1の学年合宿が行われました。1日目は、ホールでの開会礼拝から始まりました。校母ゲーンズ先生についてのお話を聞いて、比治山にある先生のお墓へ行き、「墓前礼拝」をしました。墓前礼拝では、ゲーンズ先生の愛唱歌の讃美歌294番を歌い、献花をし、お祈りを捧げました。その後、呉市安浦町のグリーンピアせとうちへ移動。あいにくの雨で、室内での「同級生インタビュー」となりました。が、生徒たちはものともせず、クラスの仲間とさらにうちとけていました。夕べの集いでは、「誕生日チェーン」などのミニゲームで親睦を深めた後、照明を落としキャンドルを灯して「夕拝」の時をもち、女学院生活のはじまりと新しい出会いを感謝する機会としました。2日目は少し雨が上がり、プチ讃美歌コンクール、ドッジボール大会、バーベキューと楽しい行事が続きました。帰るころには雨もあがり、濃密で楽しい二日間となりました。

(中1合宿係)

生徒会活動(中学)

新しい学年になり、今年度も各クラスで各委員会役員を選出し、新しいメンバーでの生徒会活動が始まりました。各委員会の今年の年間目標を紹介します。

- | | |
|---------|--|
| 五人委員会 | 脱、なまけ者。(何事も怠けず、責任を持ち素早く仕事をしようという意味です。) |
| 評議会 | 一つのアイデアが明日の女院を変える。
聞かせて下さい、あなたの声を。 |
| 礼拝委員 | 責任を持って、どんな仕事も心をこめて！
① Let's make 温かい礼拝。
② Let's ボランティア for 隣人。 |
| 美化委員会 | みんなでいつも学校をピカピカにしよう！ |
| 保健委員会 | KTDS きれいな手で過ごそう！ |
| 図書委員会 | スムーズかつ丁寧に当番をし、快適に利用してもらえるようにする。 |
| 体育委員会 | Smile & Enjoy PE Girls. |
| 選挙管理委員会 | 守秘義務を守るために、ふざけず、協力して、速く正確に！ |

各委員の目標達成に向けて、皆さまの協力をお願いします。

(中学生徒会顧問)

生徒会活動(高校)

高校生徒会執行委員会では、今年度も4月23日(土)小雨の降る中、あしなが学生募金のボランティアに参加しました。毎年多くの生徒のみなさんが応募してくれるため、抽選により30名になりましたが、参加してくださった皆さん、ありがとうございました。「あしなが学生募金のおかげで大学に行くことができたから、とても感謝しているのよ。」とお話して下さった方もいらっしゃり、この活動の意義を感じ大切さを学んだようです。

体育大会では、執行委員会主催のもと、応援団がすばらしい演技を披露して、華を添えてくれました。年間テーマ「百花“諒”乱」を取り入れ、それぞれ工夫を凝らしていました。結果は、金賞－青組、銀賞－白組。どのカラーも、規則の趣旨をよく理解し、きちんと守ってくれていました。リーダーさんたちもよくまとめてくれたと思います。

次の大きな行事は、中高合同の文化祭です。実り多いものになるように準備していきましょう。

(高校生徒会顧問)

吹奏楽部第 29 回定期演奏会

中高吹奏楽部は、4月17日(日)にゲーンホールにて第29回定期演奏会を開催致しました。ユニフォームを新調し、この演奏会で初お披露目でしたが、真っ白なジャケットに黒い蝶ネクタイを締めた吹奏楽部員達は、いつもよりも演奏もパリッとした印象でした。ポップスステージでは、演出を生徒だけで企画し、会場を大いに盛り上げました。今年は予想を上回る数のお客様に来ていただき、プログラムが足りなくなりました。お忙しい中、会場に足を運んでくださり、部員一同大変感謝しております。

この演奏会を開催するにあたって、これまで支えてくださった皆様に感謝申し上げますと共に、これからも吹奏楽部をご支援頂きますようお願い申し上げます。



(吹奏楽部顧問)

高校演劇部春の公演

高校演劇部は成井豊作「雨と夢のあとに」を4月23日(土)の午後に上演しました。

中学2年生の雨は父の朝晴と二人三脚で生活していました。そんなある日、朝晴は事故で命を落としてしまいます。しかし数日後、不思議なことに魂だけは雨のもとに帰ってくる事ができたのでした。雨を悲しませたくない一心で朝晴は自らの死を隠し通そうと画策します。そんな中、雨の母・月江が現れ雨を引き取りたいと申し出ます。ラストでは朝晴が雨に自らの死を伝え、雨との別れを決意します。真の愛情とは何かを私達に問いかける作品でした。愛ゆえに真実を隠す者、愛ゆえに大切な人を憎んでしまった者…様々な愛のかたちをいかに表現するかが今回の舞台の難しさでした。部員一丸となって毎日この難題に取り組み続けました。公演終了後は多くの観客の方々が涙を流しながらお褒めの言葉をかけてくださいました。その一言一言が、引退する高3生にとっては誇りに、残る部員達にとっては励みになりました。本当にありがとうございました。次回公演も心を動かせるものに仕上がるよう部員顧問共々精進してまいります。

(高校演劇部顧問)

中高マンドリン部第36回定期演奏会

4月24日(日)にマンドリン部では第36回定期演奏会を催しました。

第1部と第3部は、中高生全員での演奏、第2部では高校生10名によるアンサンブルでの演奏でした。第3部の「オペレッタ『ぶどう畑の恋』」より演奏した4曲には、高3のM・Mさんにピアノで賛助出演していただき、素敵なおピアノの音色とマンドリンの音色がホールに響き渡り、充実した演

奏をお届けできたのではないかと思います。今年も遠方から駆けつけてくださるお客様も多く、曲のすばらしさを少しでも知っていただけたなら嬉しく思います。聴きに來てくださった方々に、心から感謝申し上げます。また、演奏会を行うにあたってアナウンスや照明、受付などで協力していただいた各クラブの生徒たち、これまで部員たちを支えてくださった保護者の皆さまにも、心から感謝いたします。

次は7月の全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクールに向けて、精一杯頑張りますので、今後ともご支援の程よろしくお願いいたします。



(中高マンドリン部顧問)

ハワイ研修報告

4月1日(金)～6日(水)の期間、Global Issuesを受講している高2生27名がアメリカ・ハワイ州において研修をしてきました。到着早々、イオラニ高校へ。ここでストレッチトレーナーとして働いている本校卒業生の紹介で、Peace Instituteでボランティア活動をする生徒と交流。GI生はPS(Peace Studies)や課外活動についてのプレゼンテーションをしました。次に、ハワイ日本文化センターを訪問。ここでは日系人の歴史を学びましたが、戦前、戦時中、戦後、移民がどのような足跡をたどってきたかについて、日系人の方に直接お話を伺うことができました。

2日目はまずパール・ハーバーに行き、アリゾナ記念館と資料館を見学しました。

戦艦アリゾナは日本軍の攻撃を受け、1100名以上の兵士とともに沈みました。この記念館は戦艦の上に建てられ、兵士たちの慰霊の場となっています。資料館では映像を見ることもでき、日本軍がなぜ真珠湾を攻撃したのかなど、史実に基づいて中立的かつ淡々と説明してあります。日本人がパールハーバーを訪れる意味を心に刻んだ訪問でした。ビジターセンターでは折り鶴ボランティアをしました。プナホウスクールの生徒が月に一度程度やっている「サダコ・プロジェクト」で、来訪者に折り鶴の折り方を教えたり、佐々木禎子さんのことについて話したりして、平和を祈る気持ちを折り鶴で表現することをシェアします。最初は黙々と折り鶴を折っていた生徒たちは次第に積極的に来訪者に話しかけ、和気藹々と一緒に折り鶴を作るなどしました。多くの人が訪れるパールハーバーでしたが、日本人の来訪者は驚くほど少なく、生徒もその事実衝撃を受けていました。

2日目の午後は広島女学院同窓会ハワイ支部の皆さんとの交流です。現在でも20名近くの卒業生がハワイ在住で、この日は12名の同窓生が集まってくださいました。なかには原爆を体験した方、女学院で初めての「帰米2世」(アメリカで生まれ、一時的に日本で教育を受け、またアメリカに戻った人たちのこと)もおられ、戦時中や戦後のお話を伺うこともできました。一方で30～40代の卒業生の方々とはそれほど変わらない学校の様子や教員のことも話題にのぼり、盛り上がっていました。プナホウスクールに通うお子さん(高2)も参加され、フラダンスを習ったりするなど、とても楽しいひと時でした。女学院生はどこにいても女学院生だと感じた2時間でもありました。

3日目は日曜日。ホノルル市内にあるハリス・メソジスト・チャーチを訪問。この

教会の第2代牧師は砂本貞吉先生で、現在の牧師は卒業生の三宅展子先生です。この日の説教は”Peace Be With You”でした。スペースシャトル「チャレンジャー」が事故を起こす直前、機体に不具合を見つけていた関係者が発射を止められなかった苦悩、イエスを裏切るペテロなどを挙げ、内なる平和とは何なのかというお話でした。小柄な三宅先生ですが、全身全霊で話をされるその姿にも感銘を受けました。GI生はゲーンズ先生の愛称讃美歌「みめぐみゆたけき」を英語で歌い、礼拝に参加された皆さんに喜ばれました。礼拝後は、砂本先生の当時の写真を拝見したり、教会員の方の手作りランチと音楽で歓待され、心がおだやかになるひと時を過ごしました。

午後、再び、パールハーバーへ。戦艦ミズーリを見学してきました。この戦艦は第二次世界大戦終結のための調印式のために使われたり、湾岸戦争にも出動するなど、長く戦争で使われたもので、それら戦争の歴史を語るために係留されています。神風特攻隊が突っ込んだ生々しい跡もありました。あらためて戦争について考えさせられる訪問でした。

4日目は実質最終日。いよいよ待ちに待ったプナホウ・スクール訪問でした。プナホウスクールは8年前に Hiroshima Peace Scholarship を設立し、毎年2名の生徒を広島に派遣しています。本校はその研修のお手伝いをしています。この度、初めて本校生徒がプナホウを訪問するという長年の夢がかないました。プナホウは全米屈指の進学校で、オバマ大統領の母校でもあります。広大な敷地に充実した設備を持ち、ハワイ随一の人気を誇っています。日本語クラスの見学、キャンパスツアー、ボランティア活動として署名活動をしてきました。また、チャペルに参加したり、女学院の取り組みをプレゼンテーションする機会もあ

りました。滞在時間はそれほど長くはありませんでしたが、とても充実した時間でした。

今回のハワイ研修は観光の要素はほとんどなく、女学院ならではのプログラムが実施できたと自負しています。ビーチを横目に忙しく動き回りましたが、潮の香りと波の音、美しい自然に包まれ、ゆったりとした気分で研修に臨めました。この研修でお世話になった三宅展子先生、藤本陽子さん、浄念ゆかさんにこの場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

(グローバル教育推進部)



PTA総会

2016年度のPTA総会が5月21日(土)に行われました。この日は、授業参観日でもあったので、朝のホール礼拝(中学)から参加される保護者の方々も多く、中学の各教室の授業では、熱心な参観の姿が見られました。

総会は、11時から始まりました。まず、昨年度の事業・決算報告があり、続いて新年度の役員選出、事業・予算案が承認されました。2015年度は、PTA基金から部室ロッカー等を購入していただき生徒たちも大変喜んでいました。ありがとうございます。また、PTA会長より、創立130周年を迎えるに当たり、ゲーンズホール竣工時にPTAから寄贈されました緞帳のクリーニングに関しての提案がありました。

また、報告事項として、維持会問題の経過報告があり、その後、進路指導部からの2016年度大学進学実績報告、グローバル教育推進部より、本校のSGHの取り組みについて報告がありました。

昨年度役員の皆様、労を惜しまずPTA活動に取り組んでいただき、ありがとうございました。また、新年度の役員を引き受けてくださった皆様、ご多忙な中をありがとうございます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

(中学教頭)

熊本地震募金のご報告

4月の熊本地震では、関連死も含め50人以上の方が犠牲になり、今なお避難生活を送っておられる方も多くおられ、被害総額は4.6兆円とも言われています。

女学院では直後に生徒の提案から募金活動を行い、中学20,890円、高校47,018円を、それぞれ、中国新聞、日本赤十字を通して熊本地震災害義援金としてお送りしました。

また、中学では5月21日(土)のホール礼拝で、拝高真紀夫牧師(広島福音自由教会)をお迎えし、現地で支援活動をしてこられたお話を伺い、被災地のために祈りを合わせました。

被災者の方々の心と体の傷がいやされ、1日も早く安心できる生活を取り戻すことができますようお祈りしたいと思います。

(中高生徒会・高校宗教委員会・
中学礼拝委員会)

保健室だより (2)

～健康診断の結果通知について～

健康診断が進んでいます。6月2日(木)午後には、耳鼻科・眼科・歯科検診が実施されます。必ず受けるようにしましょう。

また、検診の結果、病院を受診していただきたい方には、本人と保護者宛てに速やかに手紙を出しております。自分の体を見つめる良い機会ですので、特に、受診の勧めがあった場合は、病院に行つて結果を保

健室まで持って来てください。なお、その結果、運動制限等があるようでしたら、所定の様式もありますので、保健室まで取りに来てください。6月末頃には、全部の検診健康診断の結果を記した健康診断個人表をお返しいたしますので、必ず目を通しておいてください。

疲れたら早めに休む、無理も程々にして元気に毎日をおくりましょう。

(保健室)

心の健康 (2)

6月は梅雨です。この時期は湿度が高く、空気もジメジメします。人の心と身体は天気や天候の影響を受けますので、心もジメジメしがちです。このような時こそ、家庭でひと工夫して心身の健康に気をつけたいものです。

紫陽花が彩りよく咲く季節です。今月は美しいものにふれることを心がけてみられてはいかがでしょうか。お部屋にちょっとお花を飾る心のゆとりもほしいですね。

(カウンセラー)

生徒の活躍

《中学》

◇中学新体操部

*平成28年度広島地区春季新体操競技大会

団体	Aチーム	2位
	Bチーム	3位
個人	一部総合	
	O・S (2-E)	8位
	二部総合	
	N・S (2-A)	4位
	二部種目別クラブ	
	O・N (1-C)	1位
	I・H (2-C)	3位
	二部種目別リボン	
	Y・M (1-A)	1位

◇中学ソフトテニス部

*平成 28 年度広島市中学校ソフトテニス
選手権大会 (安芸・中ブロック大会)

団体 2 位 ⇒ 市大会出場権獲得

個人 2 ペアが市大会出場権獲得

《高校》

◇高校卓球部

*第 65 回広島県高校卓球選手権大会

団体 : ダブルス

T・H (2-E)

K・A (2-C) 組 ベスト 16

*第 69 回広島県高校総合体育大会

(卓球の部) 広島地区予選

団体 : A 級 5 位 ⇒ 県大会出場権獲得

(三次にて 6 月開催)

◇高校水泳部

*広島地区春季水泳競技大会

T・M (1-A)

400m 個人メドレー 2 位

200m 個人メドレー 3 位

教職員の動向

○5月11日に理科の皆本先生のご家庭に
女兒が誕生されました。おめでとうございます。
明里 (あかり) ちゃんです。ご成長の上
に神様の豊かな祝福をお祈りします。

○5月19日に英語科のフィッシャー先生
のご家庭に女兒が誕生されました。おめで
とうございます。千鳥 (ちどり) ちゃん
です。ご成長の上に神様の豊かな祝福を
お祈りします。



今月の聖句

「しかし、まず福音があらゆる民に宣べ伝えられねばならない。引き渡され、連れて行かれるとき、何を言おうかと取り越し苦労をしてはならない。そのときには、教えられることを話せばよい。実は、話すのはあなたがたではなく、聖霊なのだ。」

マルコによる福音書 13 章 11 節・12 節

(聖書科 Y. I)

6 月行事予定表

1	水	夏服更衣 教育実習(6月21日(火)まで)
2	木	第2次スクリーニング(午後授業なし)
3	金	
4	土	中間テスト素点確認 ⑨ 県総体
5	日	
6	月	面接週間(40分授業) 5.6.7限木曜授業
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	高3進研マーク模試 英語検定 リーグブレイクキャンプ
12	日	
13	月	平和を祈る週
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	⑩ 漢字検定
18	土	45分授業 1限8:40~ 平和を祈る週特別礼拝
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	参観日
25	土	40分授業 SGH研究発表会 講演会 ⑩3限 ⑪4限
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	